

9月1日9時30分 CRT スタジオで収録

9月からの『効果の上がる学習方法』を考える

開倫塾

塾長 林明夫

Q：9月からの「効果の上がる学習方法」とは何ですか。まずは、受験学年からお話してください。

A：(1) 高3、中3、小6など、受験学年の皆様にとって、9月から、受験が終わり、来年3月までが、人生にとって、最も忙しい時期かもしれません。

(2) 受験生にとって、9月から、来年3月までの7カ月間は、

①「自分を見失わないこと」

②「自分のことは、しっかり考える」

③そして、できれば、「受験生としての自覚」をもって、一日、一日を大切に過ごすことを、おすすめします。

(3) ①模擬試験の結果や、受験した入学試験の結果に、「一喜一憂」しないこと。

②くよくよ悩んでいても成績は上がりません。「悩む時間は30分」と決め、「悩む暇があったら、机に向かうこと」です。

③なぜ、できなかったのかを、自分の力で分析し、不得意分野は、よくわからないところまで遡って、学び直すこと（遡及学習）です。

④もし可能であれば、眠る時間以外、机に向かうことです。

⑤「学校の授業がある日は、6時間以上」、「学校の授業がない日は、12時間以上」机に向かうこと。

⑥一度学んだり、一度解いた問題は、「復習」と同時に「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」をしっかりと行い、「理解」と「定着」に励むこと。

⑦勉強が終わった教科は、「まとめノート」を作り、スミからスミまで覚えること。

(4) ①入試が終わり、進学先が決まったら、進学先で必要な教科のうち、十分に勉強してこなかった教科を、しっかり学び直すこと。

②理科系の大学や専門学校に進学が決定した皆様の中で、数学ⅡBや数学Ⅲを学んでない皆様は、必ず、しっかり勉強してください。でないと、授業についていけません。

③文系学部に進学が決定した人で、「高校倫理」「政治経済」を学んでいない皆様は、必ず、学んでから、大学に進学してください。

○国際学部やコミュニケーション学部、法学部や政治学部、経済学部や経営学部に進



学をするのに「高校倫理」「政治経済」をまったく学んでいない場合には、すべて学び直すことをおすすめします。

- ④多くの大学や専門学校では、入学と同時に、TOEIC の試験が課されます。TOEIC は、準備しないと、得点が難しい試験です。ですから、大学や専門学校の進学が決まったら、一日も早く、TOEIC の勉強をスタートすることをおすすめします。



Q：非受験学年は、9月から来年3月まで、どのように過ごしたらよいのですか。

A：(1) 非受験学年も、9月から、来年3月までは、割と忙しい日々が続きます。

- ①単元テスト、定期試験
- ②来年になると、学年末試験
- ③実力試験
- ④検定試験（英検、漢検、数学検定）
- ⑤部活動、新人戦
- ⑥文化祭、
- ⑦修学旅行、宿泊訓練
- ⑧芸術鑑賞、スポーツ観戦
- ⑨インターンシップ
- ⑩SDGs、探求学習
- ⑪ボランティア活動
- ⑫新聞週間、読書週間

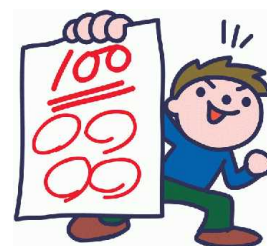


(2) 一度学んだ内容は、「復習」「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」でしっかり理解・定着を図り、全教科、100点満点を目指す。

(3) ①学校で学ぶすべての教科は、すべて上級学校で役に立つ、すべて社会で役に立つ、一生役に立つ。

②ですから、決して、教科書やまとめノート、辞書や地図帳などは捨てないこと。

③きちんと保存して、死ぬ前の日まで、ゆっくり読み直すこと。



Q：最後に一言どうぞ。

A：(1) 読書の秋です。

- ①これぞという、お気に入りの本は、もう一度読み直しましょう。「本は6回読む」
- ②これぞという、お気に入りの作家がいたら、もう一冊、作品をていねいに読んでみましょう。
- ③「書き抜き読書ノート」は超おすすめです。

(2) 新聞の秋です。

- ①新聞を、毎日、30分読む習慣を、一日も早く身に着けましょう。
- ②英字新聞にも毎日挑戦を。



③新聞を読み、毎日、学校図書館、公共図書館に出かけましょう。

(3) 秋は、哲学の秋でもあります。毎年、11月第3木曜日は、国際連合が定めた、「ユネスコ世界哲学の日」です。

<哲学とは何か>

①キー・ワードは、「価値（大切さ）」「意味（意味づけ）」「秩序（社会のルール、自分で決めたルールは守る）」、この3つです。

②これから行おうというものごとの「価値」・大切さは何か。

③そのことの自分にとっての意味は何か。

④では、何をどうしたらよいかを、自分で考え、自分で秩序だった行動をする。

⑤これが、「哲学する」ことと考えます。

⑥「今、哲学する」を、合言葉に、よく生きるために、今年も、「ユネスコ世界哲学の日」を迎えましょう。

